

粟生小学校だより

自分でがんばる！みんなでがんばる！

令和3年11月
能美市立粟生小学校
校長 六反田 紀枝

体験・交流・行事を通して 学びの充実

朝夕の肌寒さに秋の深まりを感じさせる中、日常の教育活動が少しずつ戻ってきました。子ども達は、体験活動や様々な方との交流、行事等で心豊かに学ぶ機会が増えてきました。引き続きコロナ対策にしっかりと取り組みながらも学びの充実に努めていきたいと考えています。保護者、地域の皆様、よろしくお願いいたします。



どんぐり拾い・1年生
生活科の学習で秋常山古墳にどんぐり拾いにいきました。たくさん拾いました。



授業参観・2年生
今年度2回目の分散授業参観です。できるだけ普通の授業をと担任以外の授業もありました。



JAISTとの交流・3年生
外国語活動で学んだことを活かしてJAISTの方とオンラインで話し伝え合いました。



寺井3校交流・4年生
寺井地区の3小学校の4年生でオンライン交流をしました。今回は初めてなのでクラス紹介をしました。



ぶんぶんボウルとSDGs授業・5年生
ぶんぶんボウルがわかりやすく5年生にSDGsについて教えてくださいました。クイズやコントもあって楽しく学びました。



講談体験・6年生
文化庁の取組で、5、6年生に講談の世界を体験させ面白さを伝えることができました。講談にも挑戦！

☆未来創造フェスティバル表彰式

能美市子ども未来創造フェスティバルに出品された各部門の中から1名ずつ4名の大賞が選ばれました。その中で、科学研究部門には5年生の中川そらさん、ICT部門には6生の中出伊織さんが選ばれました。おめでとうございます。26日にクローブック持帰りを予定していますが、その際に入賞作品を見ることができます。詳しくは後日お知らせします。



☆学校サポーターの活用

能美市では学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティスクール(CS)としての取組を行っています。今年度はCS委員の方々に中心となっていただき、様々な教育活動の支援をお願いし充実しています。放課後学習支援、校外学習補助に加え、今後1年生のリース作り、5年生のミシンサポートなども予定しています。ありがとうございます。

